

FOCUS

「フォーカス」

特集 兵庫県知事と懇談 2023.2 Vol.01

2023年度をスタートするにあたって
兵庫県知事と対談。
また齊藤知事の描く未来の兵庫とは!?



伊山 真司
一般社団法人淡路青年会議所
第61代理事長

理事長挨拶

Greetings from the New Director

青年会議所にある様々な機会と向き合っていこう。

2023年度
スローガン
機に勇ましく!
～新たな可能性を生み出すために～

一般社団法人淡路青年会議所
第61代理事長

結びとなりますが、冬らしい寒さが続き体調を崩しやすい季節となります。また、今なおコロナ感染が静まらない中、皆様には充分お気をつけいただきますようお願い申し上げます。理事長雑感とさせていただきます。

一般社団法人淡路青年会議所(以下、淡路青年会議所)の広報誌「FOCUS」をご覧いただきありがとうございます。また、日頃より淡路青年会議所に対し、ご理解ご協力を賜っておりますこと、心より感謝と御礼を申し上げます。青年会議所はまちづくりの団体であるとともに、そのまちづくりに取り組む人の成長、ひとつの団体を挙げていくこと、これまでも見出せてきた「chance」という機会にしっかりと向き合うことから、これまで見出せていなかった新しい可能性を生み出し、地域や人の「しあわせ」を実現できる運動を展開してまいります。青年会議所は単年度制を採用しているため、2023年度の組織での活動は1月1日より1年間しかありません。本年度は6委員会で構成され活動してまいります。後のページでも紹介させていただきますので是非ご覧ください。さて、年明けから一か月の活動を振り返りますと、まずは1月1日より2023年度のホームページが立ち上がり、その他FacebookやInstagram、TwitterなどのSNSも動き出しました。また、本年度はLINE公式アカウントも立ち上げ、スマートフォンからはホームページと各SNSが集約され、より便利な情報共有ツールとなっておりますので、下のQRコードから登録いただきご利用いただければと思います。これらを企画実施いただきました三澤委員長率いる魅力発信委員会の皆様にご挨拶申し上げます。1年間淡路青年会議所の情報や魅力の発信に引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。続いて、坂本委員長率います理事長公室設置のもと、今年度初めての例会、1月例会をホテルニューアワジにて開催させていただきました。メンバーの皆様へ向け年頭の挨拶をさせていただいた他、各委員長の意気込みも聞くことが出来ましたし、何よりモト併用ではあります。メンバー全員が参加する100%例会を達成できたこと大変嬉しく思います。ご尽力いただきました理事長公室の皆様をはじめご参加いただいたすべてのメンバーに感謝致します。そして翌日には新年会を開催させていただきました。淡路青年会議所ではコロナウイルスの影響により2年ぶりの新年会の開催ではありませんでしたが、多くのご来賓、親交の深い青年会議所メンバーの皆様、そしてOB会員、特別会員の皆様にご出席を賜りました。私からは所信表明と本年度スローガンを述べさせていただきました。昨年度の感謝をお伝えさせて頂きました。企画運営いただいた伊東委員長率います交流推進委員会の皆様には連日にもかかわらず素晴らしい事業にしてくださいましたことに感謝いたします。また、京都會議や他団体主催の事業にも参加させていただく機会をいただきました。これから各事業も徐々に形が表れて参ります。1年は長いようで、すぐに過ぎ去ってしまいます。青年会議所にある一つの機会を逃さず、しっかりと向き合うことから自己の成長へ活かし、またそのエネルギーを地域や人へ与えられるように邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

Contents. 01. 理事長挨拶 02.-03. 委員会紹介 04.-06. 事業報告+特集記事 | 入会案内



FOCUS 2023年度一般社団法人淡路青年会議所 新年会

詳細はこちら

2023年度の新たなスタートに際し新年会を開催させていただきました。理事長より所信表明、また新体制のお披露目をし、日頃より格別のご支援、ご協力をいただいている方々へ感謝を伝える機会として3年振りに執り行いました。



去る1月12日(木)ホテルニューアワジにて、2023年度の新たなスタートに際し「一般社団法人淡路青年会議所新年会」を開催させていただきました。第61代理事長伊山真司より所信表明及びスローガン、並びに新体制のお披露目をする共に、日頃より格別のご支援、ご協力をいただいている方々へ感謝を伝える機会として2年振りに新年会を執り行いました。

本年度の設営は、JCI淡路初の様式での新年会となり受け継がれる伝統と新しいスタイルを融合させる、というテーマを掲げて進めてまいりました。古き良き座敷での新年会から、円卓での洋式での設営に際して注意を払いながら取組みました。来賓の方々やメンバーに対し今までとは全く違う形で設営したこと、導線やおもてなしに少なからず不備などあったかと思えますので次年度にしっかりと引き継げる資料を作成しなければと考えます。しかし直前まで数多くの委員会を開き考え、直前のリハーサルまでメンバー全員で奔走して創り上げたことに私自身感動と達成感でいっぱいです。



3. 杉本明義 OB 会長をお見送りする理事長



1. 所信表明する伊山理事長



2. 新年会の準備に奔走したメンバー

ましく！新たな可能性を生み出すために！」のもと、私ども交流推進委員会も今回の事業を振り返り1年間邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますがご来賓をはじめ特別会員皆さま、ご尽力頂きました業者の皆さま、そしてJCI淡路のメンバーの皆さまありがとうございます。

交流推進委員会 委員長
伊東 明信

2023年度 入会案内 新入会員募集中

JCI Awaji Junior Chamber International Awaji
一般社団法人 淡路青年会議所

私たちと一緒に活動しませんか！ 明るい豊かな淡路島のために！

一般社団法人淡路青年会議所では、2023年度新入会員の募集を随時行っております。青年会議所(JC)は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、次代のリーダーとなる責任感を持った青年の団体です。そして、淡路青年会議所は創立以来「淡路はひとつ」を基本理念に淡路島のまちのため、また活動を通して得る自身の資質向上のため活動、運動を行っております。

本年度は、「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」をスローガンに掲げ、青年会議所にある様々な機会に勇敢に挑み、変革の起点となる取組みを行ってまいります。自分にはないものを持った仲間たちとの時間を通して絆を深め、未来を見据えた意見交換を行いませんか。ぜひ青年会議所に入会して、私たちと共に「人が、地域がより良くなる」社会を目指していきましょう!!

- 入会資格
- 年齢は20歳～40歳までであること。
 - 一般社団法人淡路青年会議所の目的に賛同されること。
 - 一般社団法人淡路青年会議所資格規定に基づく選考に合格されること。

現在会員数
46名(男性41名/女性5名)
多様なメンバーが在籍中

入会のご案内

JCI淡路の紹介



魅力発信

「挑」をテーマに！

今年度魅力発信委員会はホームページの更新・広報誌発行年4回・7月例会設営・11月例会設営となっております。つきましては、SNS・広報誌を活用してホームページへ促してより一層多くの人に一般社団法人淡路青年会議所を知って頂ける様に勤めます。魅力発信として現役メンバーに焦点を当てて各々が輝く姿を発信し一年を通じて委員会メンバー皆さんで楽しんで取り組んでまいります。

魅力発信委員会
委員長 三澤 大祐

人財づくり

「共」をテーマに！

今年度人財づくり委員会は会員拡大、3月例会、5月例会、9月例会の企画・設営を行います。地域の方々に淡路青年会議所の魅力と存在意義をしっかりと理解して頂き、多くの方々に入会していただける様に精進してまいります。この1年間楽しく活動してまいりますので宜しくお願い致します。

人財づくり委員会
委員長 小川 優一

交流推進

「友好」をテーマに！

今年度交流推進委員会は、先日行われました新年会の設営・8月・12月例会の設営・ゴルフ同好会の運営管理などとなっております。委員会名通り、メンバーはもちろん、特別会員様や各種団体までJCI淡路が活発になるように、人と人が繋がりが力になる交流を進めていきます。そのことが「明るい豊かな淡路島」に繋がると確信しており私もJCI淡路の潤滑油となるべく取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

交流推進委員会
委員長 伊東 明信

理事長公室

「可能性」をテーマに！

2023年度理事長公室は、理事長の秘書的業務を中心に、三役会・理事会の設営、1月例会、6月例会の設営を5名のメンバーにて実施致します。JCI淡路の縁の下の力持ちであり、組織の潤滑油として、各委員会やメンバーが活動しやすい環境を作っていきます。

理事長公室
公室長 坂本 敏行

持続社会開発

「愛」をテーマに！

今年度、持続社会開発委員会では、4月例会と持続社会開発事業をになっております。目まぐるしく変化する時代を的確に捉えて、課題解決と、明るい豊かな、愛すべき淡路島の未来を表現し共有できるよう、メンバー一丸となり前進してまいります。

持続社会開発委員会
委員長 高田 祥平

次世代育成

「志」をテーマに！

今年度の次世代育成委員会は例会の設営(2月・10月)と第28回わんぱく相撲淡路場所の設営を行います。本年で28回目を迎えるわんぱく相撲淡路場所では、日本の伝統である相撲を通して、地域の次世代を担う子どもたちの心身を練り、挑戦する心や忍耐力、礼儀礼節を学ぶ機会を提供できるよう努めてまいります。また、例会においてはJCI淡路の次世代を担うメンバーの資質向上の機会の創出に努めてまいります。

次世代育成委員会
委員長 戸田 敦大



FOCUS 2023年 新年祈願 / 伊弉諾神宮～巖島神社

淡路青年会議所では、淡路島の更なる繁栄を祈願して年明けに新体制の理事メンバーで参拝を行います。本年度は伊弉諾神宮にて正式参拝を行い、その後、巖島神社にて新年祈願を行いました。2023年度事業全ての事業成功を祈願してまいりました。

詳細はこちら



1. 伊弉諾神宮での新年祈願
2. 巖島神社の干支大看板前で理事長の一枚
3. 参加理事メンバー集合写真

去る1月6日(金)伊山理事長の新体制のもと、新理事メンバーが集い伊弉諾神宮にて正式参拝を行い、その後、巖島神社にて新年祈願を行い2023年度事業全ての事業成功と淡路島の更なる繁栄と会員メンバーのご多幸と健康を祈願して参りました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の感染もあり理事メンバー全員揃ったの参拝は出来ませんでした。が新理事メンバー一丸となつて年頭の祈願を行う事が出来たのではないのでしょうか。

新年祈願を終え、新理事メンバー一同新たな門出をする事が出来ました。この1年間の事業が全てを成功に導くために全力で邁進して参りますので、宜しくお願ひ致します。

理事長公室 公室長
坂本 敏行

FOCUS 1月例会

1月例会は、年頭に理事長の所信を組織に浸透させる重要な例会になっています。理事長の所信をメンバー全員で聞くことで、組織の向かっていく方向性と意識を共有する場として例会を開催しております。

詳細はこちら



1. 祝100%例会達成集合写真
2. 最優秀委員会賞の理事長公室のメンバー
※その他、褒章授与者はHPより

1月例会は、年頭に理事長の所信を組織に浸透させる重要な例会になっています。理事長の所信をメンバー全員で聞くことで、組織の向かっていく方向性と意識を共有する場となりました。また、2022年度褒賞授与式、先輩方からの記念品の贈呈式が行われ、先輩や昨年の功労者に感謝を伝える場を持つことが出来ました。

本例会は、新体制になっての初めての例会であり、メンバー全員の協力で100%例会を達成する事ができました。100%例会を目標として宣言をしてから、過去に100%を達成された先輩訪問を行い、メンバーと直接顔を合わせて声かけ、遠方や子育て、感染症対策として、オンラインとのハイブリッド開催とし、メンバー全員が参加できる環境を整えました。何より、熱量を込めて参加案内を行った事が一番大切だったと感じます。改めて、淡路青年会議所の団結力を認識するとともに、一年のスタートを最高の形で切る事が出来ました。

理事長公室 公室長
坂本 敏行

FOCUS 京都会議

1966年(昭和41年)11月、国際青年会議所の世界大会(JCI世界会議)が日本で2番目の地として京都で開催されました。翌年には、社団法人日本青年会議所通常総会が京都で開催され、以来、『京都会議』と呼ばれるようになりました。本年は「Remember Your Dream」をテーマに開催されました。

詳細はこちら



1. 京都会議の総会の風景
2. 恒例の京都会議看板前
3. ブロックナイトにて淡路青年会議所の登壇

去る1月21日(土)京都の地にて京都会議が開催されました。また、出向されているメンバーの方々の労うためLOMナイトを設営させて頂きました。会場選定に際し京都では珍しいウナギの老舗で400年の歴史を誇る「わらじや」を選定させて頂きました。設営にあたり皆様の協力もあり無事終える事が出来ました。

今回設営するにあたり理事数名にて下見を行い会場の選考をさせて頂きました。これも出向頂いているメンバーの励みとなるよう努める事が出来たと確信しております。

ブロックナイトでは、出向者は勿論、労いに駆けつけてくれたメンバーを引き連れ理事長とメンバーが登壇し、理事長の想いを共感できたのではないかと思います。今後の活動に取り組むための英気を養う事が出来たと確信しております。出向されたメンバー並びに労いに駆けつけて頂いたメンバーの皆様ありがとうございました。

理事長公室 公室長
坂本 敏行

FOCUS 12月例会～伝承 繋ぐ想いと感謝～

淡路青年会議所では、40歳の年齢をもって卒業年度を迎えます。この例会はその卒業生たちをお見送りし、残るメンバーたちに意志を承継するための例会として設営されます。また、理事長から次年度理事長予定者へのバッチが引き継がれる例会でもあります。



1. 川越理事長と卒業される先輩方との一枚
2. 理事長から次年度理事長予定者へバッチ引継ぎ
3. 次年度メンバー集合写真

本例会では卒業生の皆さまには、在籍期間中を振り返ると共に、「奉仕・修練・友情」の三信条のもと、活動されてきた経験や活動を通じて感じられたことを次年度以降も活躍されるメンバーへ伝授いただき、また現役メンバーより卒業生へ感謝の気持ちを伝えることを目的とし、開催しました。卒業生には楽しく、JCでの思い出や学びを卒業スピーチを通して伝えていただきました。卒業されました9名の皆様には改めてその功績に敬意を示すとともに、我々にとって最後の享受として、心を打つスピーチをいただきました。ことを深く感謝しております。設営面では至らぬ点が多々ございましたが、無事例会を終えることができたのは委員会メンバーを初めとする沢山の方のご協力があったこそだと強く感じています。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、ご卒業される9名のJayceeに敬意を表すと共に改めてお祝い申しあげ所見とさせていただきます。

2022年度総務広報委員会 藤野 雅大

FOCUS 兵庫県知事との懇談会

齋藤知事は兵庫県下の若手が組織する各諸団体と意見交換をしたいとの想いを強く持たれていました。そんな中で、淡路島内においては淡路青年会議所に是非というお声かけがあり、当懇談会を開催する運びとなりました。



1. 齋藤知事と参加した理事メンバー
2. 兵庫の構想を説明する齋藤知事
3. 自らS BRICKを見学する齋藤知事
4. 齋藤知事との座談会の様子

去る12月16日(金) 齋藤元彦兵庫県知事が淡路島にご来訪され、伊山真司理事長、昨年度理事長の川越直前理事長兼監事を中心にして2022年度、2023年度理事メンバーと懇談をする機会を頂きました。

「つづくはらんに」という齋藤知事の想いから会議室ではなく、かつて紡績工場としてまちの発展を支え、美術館として文化を発信してきた赤レンガの建物で洲本市にあるS BRICK(エスブリック)にて、淡路島1市、淡路島全体で取り組んでいる観光や交通施策、行政のデジタル化、出産・子育て、関西・大阪万博、兵庫デスティネーションキャンペーン、農業などの1次産業、土地活用、医療連携など幅広くお話しさせて頂きました。

懇談を通じて、兵庫5国と言われる中で淡路島を齋藤知事が大変重要視してくれていることや関心を寄せていただいていることがとてもうれしく思いました。

今後も継続してこのような懇談や意見交換の機会をお願いします。

